

年 組 名前：

小6、中3全国学力テスト開始 中学理科オンラインで

小学6年と中学3年を対象に例年実施している全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）が14日、始まった。同日は中学理科が実施され、デジタル端末を使いオンラインで出題・解答する新方式（CBT）を初めて導入。山梨県千校の約200万人が参加する。

県内の公立中学校で初めて実施されたオンライン形式の学力テスト
＝山梨県内

山梨日日新聞デジタル「さんにちEye」は全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の問題と解答を速報します。17日のテスト終了後に公開します。

定。14日の中学理科は約2300校で行われた。山梨県内の中学校でも、生徒がタブレット端末を使って1問ずつ考えながら回答を選択したり、入力したりしてテストに臨んでいた。文部科学省によると、CBTでは動画や音声を使った新たな出題形態が可能となるほか、児童生徒ごとに異なる問題を割り当てることで、データを幅広く収集できるという利点がある。

文科省が昨年公開した中学理科のサンプル問題では、自転車坂を下りブレーキをかけて止まる動画を見て、働いた力を選択式で解答した上で何が起きたかを記述する設問などがあつた。全国学力テストは、国語と算数・数学は毎年度、理科と中学英語は3年に1回程度実施される。文科省は今回の中学理科を皮切りに、2026年度は中学英語でCBTを導入。27年度からは全教科に広げ、紙の問題冊子を廃止する方針だ。〈共同〉〈宮川祐人〉

（2025 年 4 月 15 日付 山梨日日新聞 16 面）

問1

今年の全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)で、初めて導入された「CBT」とは、どのような方式のテストですか。

.....

.....

問2

「CBT」で行う利点を答えてください。

.....

問3

今年度は中学理科だけが「CBT」でしたが、来年と再来年は、どのような教科で導入されますか。

・来年度：.....

・再来年度：.....